

宣教

ISM レポート・卒業

イサクの燔祭から見る

「権利の放棄」吉田 和彦師

神は、実に、
そのひとり子をお与えになったほどに、
世を愛された。
それは御子を信じる者が、
ひとりとして滅びることなく、
永遠のいのちを持つためである。

ヨハネ3章16節

CFNJ NEWS

クライスト・フォー・ザ・ネーションズ・ジャパン聖書学院

2013.9・10月号 NO.153



イサクの燔祭から見る

「権利の放棄」

YWAM 日本代表・牧師・CFNJ 聖書学院修了

吉田 和彦 師

「御使いは仰せられた。「あなたの手を、その子に下してはならない。その子に何もしてはならない。今、わたしは、あなたが神を恐れることがよくわかった。あなたは、自分の子、自分のひとり子さえ惜しまないでわたしにささげた。」アブラハムが目を上げて見ると、見よ、角をやぶにひっかけている一頭の雄羊がいた。アブラハムは行って、その雄羊を取り、それを自分の子の代わりに、全焼のいけにえとしてささげた。そうしてアブラハムは、その場所を、アドナイ・イルエと名づけた。今日でも、「主の山の上には備えがある」と言い伝えられている。創世記22章12節～14節

権利を放棄するということ

■すべての人に権利は与えられています。クリスチャンでもクリスチャンじゃなくても、何かしらの権利を持っています。教育を受ける権利があり、国からの恩恵を受ける権利があり、働けば労働に応じてその報酬を受け取る権利があります。今日は、その権利を放棄することを学んでいきたいと思います。

悔い改める事や、放棄するとかいう言葉は、あまり聞きたくない言葉だと思えます。私が以前、YWAM で「真の悔い改め」という講義をした時、学生たちは、これから何を言われるのだろうかと落ち着かなくなったり、恐れたりしました。しかし、そのようになるのは、悔い改めということ、私達が正しく理解していない時に起こる恐れなのです。悔い改めは、ものすごい大きな恵みです。これを恐れる理由は、私達の思いの中にサタンが、嘘のインフォメーションを持ってくるからです。恥をかくとか、過去が知られるとか、責められるとか、色々な嘘が入ってきます。そして、私たちは神様の大きな恵みを、出来れば避けて通ろうと考えてしまいます。このように私たちは神様の大きな恵みを受けこなくなってしまうことがあるのです。これはとてももったいないです。権利を放棄する事も、これと同じことが言えます。権利の放棄という、その言葉だけを言



ISM特別講義

うならば、何か、まな板の上の鯉みたいに、「もう！どうにでもしてください！」みたいなイメージを持ってしまいがちなんです、実はそれは違います。聖書の中で権利の放棄をした人といえば誰を思い浮かべますか？イエス様は、究極的に権利の放棄をされた方です。神であられるお方なのに、そのあり方をお捨てになられたお方、その命をすべて私達の為に捨ててくださったお方です。パウロも権利を放棄しました。パウロはより多くの人を獲得するために自分自身を捧げました。パウロは宣教する相手に合わせて、自分のスタイルを変化させることができる人でした。その為に多くの権利を放棄しました。だいたい聖書に出てくるほとんどの人は、自分の権利を放棄した人達です。神の御心を行った人は全てそうであると思います。

アブラハムへの試練

■今回はアブラハムを見て行きたいと思えます。創世記22章1節～14節の箇所、アブラハムに神様が、愛するイサクを、わたし（神）の為に、いけにえとして捧げなさいと語られました。そして、アブラハムはその言葉通りにしようとします。この時のアブラハムの決断は、とても大きな権利の放棄でした。アブラハムは100歳の時にイサクを授かりました。老齢になり、もはや子どもが生まれるはずがない状況にあって、神様がその1年前にアブラハムの所に来て、「妻のサラは身ごもる。」と言い、神様ご

自身がわざわざお膳立てしていただきました。しかしアブラハムには、すでにハガルとの間にイシュマエルという子どもがいました。アブラハムの中では、イシュマエルが自分の子孫として、受け継いでいくものとして、頭の中で固まっていたと思います。しかし、その中であえて神様がご介入されてイサクを与えて下さったんです。ですからこのような状況の中でイサクを捧げなさいと言ってきたわけです。神様からの命令があり、アブラハムは翌朝早く、行動を開始しました。この命令と行動の間には、特別、何も記されてはいませんが、アブラハムの心情を察すると、そこには大変な苦悩があったはずで、アブラハムが実際、どの様であったかは分かりませんが、恐らくアブラハムは何度も何度も神様に問いかけたと思います。「本当にあなたの言葉ですか？」と。たぶん私だったら、「この言葉は悪魔の声でしょ！」と言ってしまおうと思います。アブラハムはこの命令があった夜、たぶん一晩中、寝れなかったと思います。私のように反抗しなくても、神様の御心だと確信したとしても、寝れるはずはありません。そして、アブラハムは一晩中、血のにじむような苦闘をしながらも、次の朝、準備し出発します。そして、三日かかってモリヤの地に到着するわけです。

アブラハムとイサクの旅

■この三日間の間、アブラハムは我が子イサクと一緒に、神様からの命令については、何の説明もせず旅をしました。でもイサクのほうはお父さんにいろいろ話しかけたと思います。いったいどのような会話をしたのでしょうか？これも想像の域を出ませんが、「自分が大きくなったらどのようなことをしたい。」とか、そのようないろいろな事をお父さんに話しかけたと思います。また父アブラハムのほうはこの三日間、どのような思いだったのでしょうか。本当に苦しい思いをしながらモリヤの地へ向かっていったと思います。そんな中、旅の終わり頃、イサクもようやく異変に気付きました。(7節)そしてお父さんに尋ねます。「お父さん。全焼のいけにえはどこにあるんですか？」と。アブラハムはそれに答えます。「神ご自身が全焼のいけにえの羊を備えてくださるのだ。」そして更に旅を続け、二人は目的地に到着します。9節には、到着後、すぐにアブラハムはイサクを縛り祭壇に捧げようとします。この箇所は、さっと1節で書かれていますけど、この時のイサクの心情はいかなものだったのでしょうか？この箇所は、よくアブラハムばかりがイサクを捧げた父親として取り扱われますが、実はイサク自身も自分自身を捧げる、その決意や覚悟があったと推測できます。イサク自身もお父さんの言葉に従順に従いました。でも最初は抵抗したかもしれません。「お父さんどうしてですか？」と言ったのかもしれませんが。し

かし聖書にはその辺は書かれておらず、さっと1節で、「縛って薪の上に置いた。」としか書かれていません。私は二人の娘を持つ父親として、この状況を考えると胸がはちきれそうになります。苦しすぎます！アブラハムももちろん、イサクにとっても苦しいことです！この二人の信仰がここに表されました。そして、ついにアブラハムは刀を取って、自分の子をほふろうとしました。(10節)それはポーズではありませんでした。ほふるような形をして「神様、いいですか？」「ハイ！カット！」みたいに、映画のワンシーンを作るみたいな訳ではなかったと思います。アブラハムはこの時、我が子イサクを本当にほふる決意をしていたわけです。実際にはイサクは死ぬことはなかったのですが、アブラハムの中では、すでに死んでいました。それほど神様はアブラハムを試みました。イサクをほふろうとした時、天から声がして「イサクに手を下してはいけない。」とアブラハムに語られました。そして全焼のいけにえの羊を、神様御自身が与えてくださいました。

アブラハムへの試練の理由

■この箇所を未信者の人が聞くと、「やっぱり宗教は怖い！」「こんな怖い宗教は入りたくない！」と言うかもしれません。しかし、なぜ？このようなことを神様はわざわざ命じたのでしょうか。なぜ？アブラハムはこのような所を通らなければいけなかったのでしょうか。実は、この前の21章で、このような出来事がありました。それはエジプトの女ハガルがアブラハムに産んだ子、イシュマエルがイサクをからかっていたという出来事でした。この「からかっていた。」という言葉は、聖書の欄外では「笑っているのを見た。」と書いています。私はこの箇所を読んで、ただ笑っていただけで、サラは「あいつらを追い出せ！」と言ったことにびっくりしました。サラは、アブラハムに対してそれを要求しました。この要求にアブラハムは悩みます。それはサラにとってはイシュマエルは、女奴隷の子にしか過ぎないのですが、しかしアブラハムにとっては、自分と血のつながった子どもです。少なからず愛情が注がれているのは当然です。しかし妻のサラは、この子を追い出せと言うんです。アブラハムは非常に悩みます。すると神様がアブラハムに、「サラの言う事を受け入れなさい。」と言われました。アブラハムはやむなくその言葉に従って、ハガルとイシュマエルを追い出しました。

神への信頼

■ここの箇所には、私たちには理解のできない、神様の深い御心があるのだと思います。私たちには見える所と見えない所があります。だから私たちはその見える所で物事を

見るのです。また自分の置かれた立場で理解しようとしません。しかし自分の立場では理解できない事は沢山あるのです。その見えないことを見えてるつもりで、又、理解出来ないことを理解したつもりで語ってしまうと、大きな間違いを起こしてしまいます。神様の偉大なる立場の中にあつてこそ、見えている事がこの箇所にはあつたのだらうと、私は思います。私たちにはすべては理解出来ません。しかし神は最善をなされる方です！私たちが知るべき事は、ここで「どうしてですか？」と問いかける事よりも、「あなたは私にとって最善なことをなさいます！」と神様を信頼することです！そして、私達はこの大前提に立つて、御言葉から学ぼうとすることが大切なんです！この大前提がなければ私たちの信仰は崩れてしまいます。そして、そこに入ってくるのはサタンの偽りです。アブラハムは我が子イサクを捧げる前に、イシュマエルを捧げました。彼は自分の手元からイシュマエルを放棄してしまいました。その後「イサクを捧げなさい。」と語られたんです。アブラハムの心情は穏やかでなかったと思います。「イシュマエルの次はイサクですか？」「私の子孫は一人もいなくなりますよ。」と。しかし神様は、それを命じられたんです！みなさん、どうして神様がこのような所を通されたと思いませんか？

試練の前にある選び

■創世記22章12節を読むと神様がここで語られた言葉は、「あなたがわたしを恐れていることがよくわかった。」という言葉です。しかし私たちが、この言葉をそのまま受け取るならば、アブラハムが神様を本当に信頼し、恐れているかどうかを試験されているように見えます。そしてアブラハムはその試験に、見事に合格したように見えます。ちょうど会社の入社時の面接のように、候補者を色々チェックし、彼が本当に会社にふさわしい人間かどうか？又、本当にやる気があるのかどうか？それをテストしているようだと感じるかもしれません。そして、アブラハムは、見事その試験に合格したからこそ、信仰の父と呼ばれ、このアブラハムを通し子孫が星の数ほど増え広がっていく結果になったのかなと考えます。でもそれは本当でしょうか？私はそうは思いません！実は、神様がアブラハムの子孫が増え広がると約束をしたのは、この出来事の後ではないのです！この事が起こる前だったのです！イサクが生まれる前に、既に神はアブラハムに約束されていました。創世記21章12節に「イサクから出る者が、あなたの子孫と呼ばれるからだ。」と書かれています。実はアブラハムは、我が子イサクを捧げるという試験に合格したから選ばれたのではなく、むしろ選びがあつたからここを通らされたのです！この点を間違えないでください。私たちは何か良い行いが出来たからこそ、神様から何か良

いことを任されると考えます。私も何度も、「小さな事に忠実でありなさい！」「そうすれば大きなことを任される！」と語ってきました。だから私たちは、何かを良く出来たご褒美として、何かをもらえると考えます。これはこの世の中の考え方のシステムです。しかし、この考え方は神様の方法ではありません！神様はまず選ばれるんです！そして、訓練されます。そして、その訓練の過程の中で私たちは、小さな事に忠実である事を学んでいくのです。そして、やがて大きなことを任されて行くのです。先に「選び」があるのです。神様はアブラハムに、「あなたが神を恐れることがよく分かった。」と語っていますけれど、神様は、この出来事が起こる前からその事を分かっていました。ですからこの事を本当に知る必要があつたのはアブラハム自身だったのです！神様の為ではありません。アブラハム自身が一番大きな啓示を受け取りました。どのような状況でも神様の声を信頼して決断し、行うなら、神様は必ず最善をなしてください！そして、そこに備えが必ずある！という事をアブラハムはこの経験を通して学びました。これが信仰の父と呼ばれるような役割を果たしていく為の、アブラハムの選びに対する必要なトレーニングだったんです。

いつも喜べる！

■この出来事があつたから、この後もアブラハムは、ずっと神様を信頼し続けることができるようになりました。私たちにそれぞれに通るべき経験があります。それぞれに通るべき試練があります。その試練があなたの前に来た時に、あなたが何を選択し、そして決断するかがとても重要になってきます。その選択をまず神様に求め、神様の御心を選び取っていくならば、例えそれが簡単な決断でなかったとしても、難しい決断だったとしても、喜びが溢れるんです！希望が溢れるんです！牢獄の中にながら希望を持っていた中国のクリスチャンたちのように、私たちは自分が今通らされている様々な試練の中で、主の御心を掴んで行くときに、喜びが溢れていくんです。1テサロニケの手紙5章に書かれている言葉、「いつも喜んでいなさい！」という御言葉を実践することができるんです！本当に私たちの喜びは、この世のものでは計ることはできないものです！なぜならそれは御霊から来るものだからです！この目に見えるものは一時的であり、目に見えないものは永遠に続いていくのです。この本当の喜びを受け取った人は、信仰を揺さぶられることは絶対にありません！

手放すから受け取れる

■私は一つだけ自慢できることがあります。それは救われてから一回も神様を疑ったことがない事です！神様への奉仕を辞めたいと思ったことが一度もありません！一度も古

い生活に戻りたいと思つたことがありません！本当にこの道が喜びです！最高の祝福です！みなさんは、今どんなところを通つておられますか？神様に今、もしかしたら手放さなければいけないものを示されているかもしれません。それは自分の古い考え方もかもしれません！自分の大切にしている物かもしれません！又、自分にとってかけがえのない人かもしれません！もしかしたら、自分の今ある地位かもしれません！しかしそれらがどんなに大切に良いものであつても、もしそれにしがみついているなら、私たちが神様の御心に従つていく為の決断はぶれてしまいます。そして、このしがみついた状態はもはや神様の恵みを受け取ることを拒絶した状態になるのです。私たちが本当に神様からの恵みを受けとろうとするならば、これを手放さなければいけません。みなさん！手に「ギュツ！」と何かを握っていると、何も受け取ることはできません！受け取る事が出来ないのです！でも手が開いているなら受け取る事が出来ます。手が神様の前に開いている状態が、「権利の放棄」の状態です。それが出来れば、神様はあなたにとって必要

ではなくつたものをあなたの手から取る事が出来ます！そして、より良いものや新しいものをあなたに与える事が出来るのです！神様への信頼があれば私たちはいつも手を広げている事が出来ます！これが神様が私たちに望んでいる心の状態です！

天の父なる神様、どうぞ私たち一人一人の内に語ってください！私たちの心の深いところに触れてください！私たちは今あなたの御言葉の奥義の中に入りたいと願います。あなたが私たちに委ねようとしておられる真理の中に入りたのです！私たちの目を、耳を、心を開いて下さい！そして、主からの啓示を与えてください！あなたの偉大なる恵みに溢れることができますように。また、その恵みがあなたの栄光、人の救いのために用いられていきますように。御名によって祈ります アーメン！

吉田和彦師講義CD・DVDの紹介 テーマ：「宣教における関係作り」(全10講義)

●講義内容(各55分)
1. 関係のイントロダクション 2. 互いに愛し合う 3. 気づきを与えるⅠ
4. 気づきを与えるⅡ 5. 自由 6. 従順 7. 権利の放棄Ⅰ 8. 権利の放棄Ⅱ
9. つまずき 10. 愛すること

卒業生の働きと、お祈りのお願い 岩手県大槌町

被災地の救いの為に！

今年3月に学院を卒業後、被災地、岩手県大槌町に遣わされた、杉浦ファミリーからのレポート、そして祈りのお願いです。



大槌町に開設した「大槌ジョイフルハウス」

主の御名を誉め称えます！
東日本震災から2年半が経ちました。今、私たち家族は地震と津波によって多大な被害を受けた、岩手県大槌町で暮らしています。

CFNJ在学中に一枚の働き人募集のチラシが届きました。岩手県大槌町で支援センターを始めるための在任者を求めるチラシでした。ちょうど、卒業後の進路を祈り求めている時期で、妻と一緒にそのチラシを読み合い、祈りの中で神様の導きを求めました。財政的なこと、放射能の影響、子供の教育環境のこと、たくさん課題がありました。そして、卒業直前、予定日より10日早く3月11日に次男が与えられ、このしるしが僕たち夫婦にとって被災地へ行くための最後の一押しとなりました。

私たち家族は大槌町に開設した「大槌ジョイフルハウス」という地域支援センターの管理者として今年の5月に赴任しました。大槌町は町の6割が地震と津波の被害にあい、たくさんの方の命が失われた町です。震災後2年半が経ち、徐々に復興が進んでいますが、まだ、至る所に津波の傷跡が残っています。また、住む人々の心の中にも傷が残っている方が大勢います。この地には教会が一つもありません。クリスチャンもいません。初めて大槌町に入ったときには、いったいこの町で僕たちは何をすればいいのだろうか？と真剣に悩みました。孤独が襲ってくるような不安感もありました。しかし、この5ヶ月間でたくさんクリスチャンの方が訪れてくださり、励まし、共に祈ってくださいました。主にある家族の愛を心に染み込むほど感じました。現在、イベントを行ったり、地域のボランティアに参加したりしながら、地域の人の関わり作りに励んでいます。是非、大槌町の救いのためにお祈りください。この地にたくさん教会が築かれることを願っています。近況や祈りの課題をフェイスブック(Facebook:杉浦義也)にアップしていますので、是非ご覧下さい。

『見よ。わたしは新しい事をする。今、もうそれが起ころうとしている。あなたがたは、それを知らないのか。確かに、わたしは荒野に道を、荒地に川を設ける。』 イザヤ書43章19節

杉浦義也・みちる

<お問い合わせ>

・日本チャーチオブゴット教団 地域支援センター「大槌ジョイフルハウス」 住所/〒028-1132 岩手県上閉伊郡大槌町大ヶ口2丁目4-35
・電話/0193-55-6688 携帯080-6595-5003 (杉浦携帯) Eメール/joyful-house@tbz.com.ne.jp 口座番号/02220-8-113606「大槌ジョイフルハウス」



チャールズ&ダイアン グリコ

愛するとりなし手の皆様へ

世界の為の祈り



WORLD PRAYER SHARE LETTER

エジプトにおける迫害！

■エジプトにはたくさんのクリスチャンがいます。私たちは彼らの苦しみを思って悲しみますが、迫害の結果、エジプトの教会の中で彼らの信仰が強められているという報告を聞いて喜んでます。

(1) 私たちが「自然」に見ていることで元気を失わず、私たちの神がいつもすべ治めておられること、また神を愛する人々、すなわち、神のご計画に従って召された人々のためには、神がすべてのことを働かせて益としてくださることを、私たちは知りました。

『私たちは、四方八方から苦しめられますが、窮することはありません。途方にくれていますが、行きづまることはありません。迫害されていますが、見捨てられることはありません。倒されますが、滅びません。いつでもイエスの死をこの身に帯びていますが、それは、イエスのいのちが私たちの身において明らかに示されるためです。私たち生きている者は、イエスのために絶えず死に渡されていますが、それは、イエスのいのちが私たちの死ぬべき肉体において明らかに示されるためなのです。』(第2コリント4章8節~11節)

■祈りましょう！

■神のことはエジプトおよび中東について何と云うのでしょうか？預言者イザヤを通して神が語られたことばが、すぐに実行されるように、共に祈り、宣言しましょう！

『その日、エジプトの国の真ん中に、主のために、一つの祭壇が建てられ、その国境のそばには、主のために一つの石の柱が立てられ、それがエジプトの国で、万軍の主のしるしとなり、あかしとなる。彼らがしいたげられて主に叫ぶとき、主は、彼らのために戦って彼らを救い出す救い主を送られる。そのようにして主はエジプト人にご自身を示し、その日、エジプト人は主を知り、いけにえとささげ物をもって仕え、主に誓願を立ててこれを果たす。主はエジプト人を打ち、打って彼らをいやされる。彼らが主に立ち返れば、

彼らの願いを聞き入れ、彼らをいやされる。その日、エジプトからアッシリヤへの大路ができ、アッシリヤ人はエジプトに、エジプト人はアッシリヤに行き、エジプト人はアッシリヤ人とともに主に仕える。その日、イスラエルはエジプトとアッシリヤと並んで、第三のものとなり、大地の真ん中で祝福を受ける。万軍の主は祝福して言われる。「わたしの民エジプト、わたしの手をつくったアッシリヤ、わたしのものである民イスラエルに祝福があるように。」イザヤ書19章19章~25節

(1) J. シブリー出版 グローバル・アドバンス update@globaladvance.org

Praise Report!

インドネシアで数百という祈りの塔が聖霊によって誕生しました！

■国際祈りの評議会のブライアン・ミルズは、「2012年5月にインドネシアで開催された『ワールド・プレーヤー・アッセンブリー（世界祈りの集会）』は、私が参加した集会のなかでも最も重要な国際的祈り会でした。」と語っています。セントウル・シティの祈りの塔ではインドネシアのクリスチャンたちが24/7の祈りをしていますが、ブライアンにとって最も際立ったものでした。ブライアンはこう言いました。「私が中を見るといつも、数百人もの人々が祈っていました。そしてこの祈りの塔は、インドネシア中にある何百という祈りの塔のひとつにすぎません。中国代表の評議員たちは『神の霊に深く触れられ』ました。中国は今6,000の祈りの家を建て上げていますが、彼らはそれを祈りの石垣*と呼び、神の御国がこのヴィジョンに応える国々に広がっています。」(*エゼキエル書22:30に基づいています。一わたしがこの国を滅ぼさないように、わたしは、この国のために、わたしの前で石垣を築き、破れ口を修理する者を彼らの間に捜し求めたが、見つからなかった。)

(2) ヨエル・ニュース info@joelnews.org

■祈りましょう！

■家族、友人やご近所の人々を招いてあなたの家を『祈りの石垣』にすることができるように聖霊様に助けを求めましょう。『プレーヤー・ウォーク（祈りの歩行）』をして、あなたの近所のご家族の為に祈ることを検討しましょう。ヨシュアに神様が語られた『あなたがたが足の裏で踏む所はことごとく、わたしがあなたがたに与えている。』というみことばを主張しましょう。(ヨシュア記1:3)

Praise Report!

今日ほどユダヤ人とクリスチャンの関係が良いことはありません！！

■イスラエルでは、聖職につくリーダーたちの歓迎会が毎年新年に行われますが、今年の歓迎会でイスラエルのシモン・ペレス首相*は、この驚くべきコメントを述べました。ペレス大統領は聖地にある多くの歴史的な教会についても語りましたが、最大のニュースは、立法を司る政府機関であるイスラエル国会に、福音的なクリスチャンとつながるためという理由で、議員団が設立されたということです！

(*イスラエル最高裁判所の見方では、『大統領はイスラエル国家、道徳および民主主義的価値、またイスラエル社会の様々な流れをつなぎ、結合するラインを代表しています。彼の人格において、イスラエル一般市民の善良さと美しさ...および道徳性と独自性を反映すべきです。大統領は彼個人の行動におけるのと同様に、彼の役割を果たす方法においても良い規範、また模範として仕えなければなりません。』)

(3) ICEJ ニュースレター 2013年3月号 www.icejusa.org

■祈りましょう！

■私たちがキリストに属する者であるなら、私たちはアブラハムの子孫であり、約束による相続人です。(ガラテヤ3:28,29) また、パウロは『福音を恥とは思いません。福音は、ユダヤ人をはじめギリシヤ人にも、信じるすべての人にとって、救いを得させる神の力です。』(ローマ1:16)と語っています。私たちは、『わたしは、わたしの霊をすべ

ての人に注ぐ。あなたがたの息子や娘は預言し、年寄りも夢を見、若い男は幻を見る。その日、わたしは、しもべにも、はしためにも、わたしの霊を注ぐ。』ヨエル書2:28のみことばが成就し、ユダヤ人がイエスをメシヤとして受け入れることができるように祈り続けなければなりません。イスラエルの上に神の聖霊が注がれるように主に祈りましょう！

アメリカ合衆国における道徳の戦い！

■自らをホモセクシャル（同性愛者）と呼ぶアメリカ人はわずか2-3%ですが、彼らの『平等な待遇』という叫びはリベラル派や聖書の知識が十分にない政治家や判事たちの両者に影響を与え、同性婚（男性同士または女性同士）を合法化する法律を制定しています。最近のアメリカの報道によれば、あらゆる年代の子どもたちは、同性愛を『ノーマル（正常）』なものとして受け入れるように『プログラム』され続けています。そして法律は、同性愛者を現状のライフスタイルから『転向』させることを禁じるように提案しています。

(注) 神はご自身の民を、みことばで明らかのように、主の真実に従って生きるように召しています。人々が同性愛を選ぶ時、その人々は過ちの中で生きており、その人生は次第にもっと奇妙な偽りと幻滅の深みに落ち込んでいくのです。

■祈りましょう！

■アメリカ合衆国の法律の制定者たちが、すべての真実の規準が神のみことばにあることに気づくように。同性愛を受け入れ、合法化することは主にとって『忌むべきこと』(レビ記18:22, 20:13)であり、永遠の罰を受ける結末になる(ローマ1:22-32)ということ、神が彼らに明らかにして下さいますように。歴史的に、同性愛を尊重し、また推進した国々は生き残っていません。どのようなタイプの罪が含まれているかにかかわらず、愛をもって(恐れずに!) 神の真実を語る準備をしましょう。



ISM 2013 レポート!

今年も CFNJ 聖書学院を会場に、I.S.M. (短期国際宣教学校) が、開校されました。

第三回目の ISM(インターナショナル・スクール・オブ・ミッションズ) は、7月16日～8月30日まで、主の祝福の内に開かれました。フルタイムの学生が、北海道から4名、関西から1名、アメリカから4名、合計9名参加し、宣教を学びました。この他に、地元から部分参加した学生が10数名いました。



講義内容の紹介

世界一流の講師陣

ISM2013 では毎週、日本を含め、世界各地の第一線で活躍している神の器たちが登壇し、みことばと自らの体験に基づき、「宣教」という大きなテーマのもと、下記の講義をしてくださいました。



講師/ジェラルド・チェスター師

「宣教としてのビジネス」

(全9講義)

■「宣教としてのビジネス」とは、社会で働いているクリスチャンにヴィジョンを与え、訓練し、弟子をつくる手助けをするためのセミナーです。ビジネスを営んでいる方だけではなく、仕事をしているすべてのクリスチャンに役立つ、励ましとなる内容です。神様は人がキリストを信じることに価値を置いているのではなく、人の仕事そのものにも価値を置いているのです。仕事はとても重要なことで、聖書は、「神様の代表者として仕事しなさい」と教えます。学生であれ、主婦であれ、家庭の外で働く仕事であれ、「私はここに遣わされたキリストの働き人です」という意識を持つことによってあなたの生き方が変わります!

講義内容 ※英語の講義が日本語に通訳されている内容です。DVD では、パワーポイントは英語で表示されています。希望者にはセミナーの内容の講義メモ(英語のみ)をメールで送ります。(各55分)

セッション1 「神は仕事をどう見るか」(God's View of Work)
●内容: 神様の創造の命令(創 1.28)と神様の仕事に対する見解。

セッション2 「墮落後の仕事」(Work after the Fall)
●内容: 人間の墮落と「墮落後の仕事」を学びます。

セッション3 「宣教大命令」(The Great Commission)
●内容: 宣教大命令を詳しく検証します。

セッション4 「弟子訓練」(Discipleship)
●内容: 宣教大命令における弟子訓練を学びます。

セッション5 「C4 原則」(The C4 Principle)
●内容: 人が聖霊に満たされる最初の記録から「C4 原則」を学びます。

セッション6 「(続)C4 原則」(The C4 Principle (continued))
●内容: 「C4 原則」を通して自分に対する神のみこころを知る方法を学びます。

セッション7 「主の働き」(The Work of the Lord)
●内容: 新約聖書で使われている「働き」ということばから学びます。

セッション8 「ミニストリー」(The Ministry)
●内容: 「奉仕」と「仕事」を結びつける聖句から学びます。

セッション9 「成功とは何か?」(What is Success?)
●内容: 人生の終わりに主から問われることは…?

※上記のテーマとは少し違いますが、下記の Youtube のリンクで、チェスター先生の「本当の富を築く秘訣」というセミナーの内容を観ていただくことができます。
<http://www.youtube.com/watch?v=cHngOA1EyFE&feature=youtu.be>



講師/デニス・バルカム師

(全8講義)

「聖霊の力による伝道と教会開拓」

■バルカム先生は現在中国で力強く働いておられる聖霊様の力による伝道について教えてくださいました。迫害や苦難に耐えつつ、多くの場合しるしと不思議が伴う、中国のクリスチャンの証は大いなる励ましとなります。



講師/吉田 和彦師「宣教における関係作り」(全10講義)

■神の御心を望んで宣教に携わりながらも、人間関係において多くの人が苦しんでいます。この講義を通して、人間関係について、目が開かれる、重要な原則を学びます。この中の講義「権利の放棄」については、今回のニュースレターに掲載されていますので、ぜひお読みください。



講師/マルコス・シュルツ師 (全11講義)

「宣教と文化」

■マルコス師は、自らの豊富な宣教師体験、宣教地訪問体験を通して、「宣教と文化」について大変興味深い講義をしてくださいました。毎日違う民族衣装を身につけてきたマルコス師の講義は必見、必聴です!



講師/福田崇師「神の愛の大河に流されて」

(全10講義)

■自らのフィリピンでの聖書翻訳宣教師の体験や豊富な知識の中から、統合的に生き、福音の深化・拡大について具体的な教えをしてくださいました。「霊性」についての具体的な教えや洞察は他ではなかなか聞けない素晴らしい内容です。



講師/稲福エルマ師「オメガ伝道」(全9講義)

■近年報告が爆発的に増えている臨死体験、(Near Death Experience, 略して NDE) を用い、聖書をガイドブックにして伝道する方法を具体的に教えます。臨死体験者の感動的な証しのビデオを用いて、「今をいかに生きるべきか」、「死に対してどのように備えるべきか」、ということを学びます。クリスチャンにとっても大きな励ましとなり、未信者への伝道のアプローチにもなります。

※毎週のゲスト・スピーカーの他に、地元札幌近郊の牧師・伝道師による優れた講義がなされました。(こちらは DVD のみの販売。)

「宣教的結婚と家庭」(全5講義)

「約束の地を所有せよ」(全6講義)

「伝道」(全6講義)

「世界宣教の展望」(全5講義)

「霊的戦い」(全5講義)

「神様のロマンス」(全1講義)

■講師/岡田 好弘師・留美子師

■講師/三浦 雅範師

■講師/坂本 清憲師・麗名師

■講師/ウィル・パーソンズ師

■講師/ジェリー・ジャンセン師

■講師/グドール ジェラルド師

すべての講義が高画質で録画・販売されています。ぜひお買い求めください。

●価格/ DVD 1講義/800円(55分)
CD 1講義/500円(55分)

卒業おめでとう!!

2013年7月5日(金)、1学期を終えて、2名の卒業生が学院での学びを終えて、学舎を後にしました。これからの歩みの為にお祈りお願いいたします。



■ハレルヤ!この3年間の学院生活で、主の慈しみと厳しさ、恵みとまことを体験することができました。また、スタッフの皆様、学院生の皆様にいつも建て上げてもらい、育まれた時間でした。感謝します。これから、受けた良いものを、周りに流していくことができるよう、さらに陶器師である主に造り変えて頂きたいと思います。

アルプスコース卒業 **福井 大化**



■学院で学んだ2年間、とてもいい時間でした。仲間との出会いやいろいろな学びは、本当に貴重でした。そして黙想する時間をたくさんもてました。この体験を生かしこれからの人生も神様と共に信仰の道を歩みたいと思います。この二年間のこと本当に神様に感謝します!

2年コース卒業 **金子 雄亮**



ロシアを祝福します! サハリンへ、車を送る!

日本から150万円の献金が集まり、中古の自動車をロシアへ捧げる事が出来ました!

■2013年4月の新学期スタート時に、20年以上にわたってサハリン宣教で働きを続けてこられた「小林繁樹先生」(ハワイ在住)と同じくサハリンで教会・伝道している「エレナ牧師」(ウクライナ出身のロシア人)が訪ねて来ました。新学期最初

の講義がエレナ牧師のメッセージとなりました。「日本と比べればサハリンの状況は悲惨です。物質的には非常に貧しい状況の中にあります。しかしそのような中で主は力強く働いており、多くの人々がアルコール中毒などから救われて来ています。私たちに物質的なものは少ないけれども真剣に主を求めています!」というエレナ牧師の証しにはインパクトがありました。アルコール中毒から救われた人々の変化した顔をビデオで見せられましたが、いわゆる「ピフォーアフター」ビデオとしてこんなすばらしいものを見たことはありませんでした。(まだ見ていない方は、YouTubeで「イエス・キリストの福音の力」と検索して見る事ができます。)

エレナ牧師は夫と共に4つの教会を担当しており、毎週のように車を使って4つの地域を回っているのだそうです。以前から使っていた日本車がサハリンの悪路のゆえにもうガタが来ており、新しい自動車が必要になっていました。小林先生とエレナ牧師は私たちに53万円を残し、「これでバン



送られてきた車を囲んで喜ぶ、サハリンの皆さん。

を買ってサハリンに送ってください。」と頼んでられました。エレナ牧師の証に感動したこともあって、「わかりました。」と引き受けました。しかし色々調べてみるとロシアに日本の中古車を送ることがいかに大変かを知りました。ロシア政府は自国の車の販売を促進するため、5年以上前の日本車には120万円(!)の税金をかけるという政策を取っていることがわかりました。結果5年以内の中古車を探さなければならず、そのためには53万円では、買えないということを知りました。知り合いのクリスチャンや教会、又、小林師の働きを日本側でサポートする「ロシア宣教支援の会」(代表者、前田房重兄)

のご協力もあり合計150万円位の献金が集まりました!ハレルヤ!

ある夫婦は、「最近買った自分たちの車が思ったより安く買えたので、献金します」といって40万円もささげて下さいました。自動車のディーラー資格があるクリスチャンの助けを得て、結局145万円で2010年製の日産セレナを買う事ができました。これを小樽で貨物船に載せ、無事にサハリンに届けることができました。

結局サハリン側で税金やさまざまな費用を80万円も払わなければなりません。しかしこの

バンを与えられたエレナ牧師とご主人のビクターさんは、この上ない喜びをおぼえて、今このバンを毎週のように、体の不自由な方や老人などを乗せ、教会に連れて行っています。日本からの献金によってこのバンを購入し、サハリンにおける主の働きにささげる事の出来た喜びは大きいです。サハリンでの必要はまだあります。どうぞ祈りに覚えてください!また導かれた方は是非献金をしてください!

2013.8.29. グドールジェラルド記

CFNJ 特別講義とゲストスピーカー

●ゲストスピーカーの授業は、どなたでも無料で聴講出来ます。(自由献金制、テキスト代有料。)通常の授業も聴講が出来ます(有料)又、入学を検討されておられる方には、無料体験入学制度もありますので、詳しくは事務局までお問い合わせください。



9月17日(火)~27日(金)迄
ブルース・マクドナルド師
ストレイヤー大学教授・アカデミック・アドバイザー
17日~20日/一般/2・3時間目
24日~27日/アルプス/1・2時間目



10月16日(水)~17日(木)迄
上沼 昌雄 師
1945年群馬県前橋生まれ。高校2年生の時にスイスからの宣教師を通して信仰に導かれる。神学博士。「夫たちよ、妻の話を聞こう」他著書多数。
1・2時間目



10月21日(月)~23日(水)迄
手束 正昭 師
日本基督教団高砂教会主任牧師。日本民族福音化運動協議会理事・事務局長。日本基督教団聖霊刷新協議会世話人代表。日本リバイバル同盟評議員。「キリスト教の第三の波―カリスマ運動とは何か―」他著書多数。
1・2時間目(2日/アルプス3時間目)



10月28日(月)~30日(水)迄
ダニエル・マカーティー師
ダニエル・マカーティー師は、家族と共に20年以上東南アジアで開拓宣教師として働く。ハッピー・ファミリー海外ミニストリーの創設者、又はディレクターとして、それぞれフィリピンとビルマで聖書学校を創立。
2・3時間目



11月7日(木)~8日(金)迄
サントス・ラエル・ダ・シルバ師
日本ミッション・アポイオの主任牧師。日本在住22年。現在、日本にあるキリストの教会の一致と啓発のためにマーチ・フォー・ジーザスや清めの集会などのイベントの組織の一員として働く。
1・2時間目



11月11日(月)~13日(水)迄
ジム・ランドール師
タイ、チェンマイにあるACEディベロップメント基金のコンサルタント。アジア各国にてリーダーシップの教えと様々なミニストリーのためのリーダー訓練を行う。
2・3時間目



2013年度2学期 授業カリキュラムスケジュール

(2013年9月9日(月)~12月6日(金)迄)

1・2年コース (必修科目)

(敬称略)

	月	火	水	木	金
1 AM8:45~9:40	世界教会史II 鍛冶川利文	旧約聖書概論II 田中信矢	創造科学 オラフ・カートハウス	使徒の働きII 田中博	雅歌の学び 松原望
2 AM10:00~10:55					イェスキリストの生涯II J・ジャンセン
3 AM11:05~12:00	エペソ書 G・グドール		約束の地を所有せよII 三浦雅範		

アルプスコース (必修科目)

1 AM8:45~9:40	霊的リーダーシップ R・グドール	祈りI 田中博	ヨブ記II 石田吉男	旧約のリーダーシップ 安田諭
2 AM10:00~10:55				
3 AM11:05~12:00	近郊の牧師	リーダーシップの21の原則 鍛冶川利文	聖書の祭り 金 聖圭	聖書釈義II 松原望

選択科目

午後 PM13:00~15:00	ポイストレーニング 新井田路子	英語クラス G・グドール	タンバリンクラス 鍛冶川紀子	実習 (必修)	ドラマ演劇クラス 鍛冶川紀子
			ドラムクラス チップ・ブラウン		

CFNJ イスラエルツアー7日間

- 日時：2014年1月9日（木）～15日（水）迄の7日間 （大韓航空）
- 定員：25名～30名 学院生・卒業生・関係者他
- 旅費：30万円（燃油チャージ料・税金込み）
- 内容：カイザリア・カルメル山・ナザレ・ガリラヤ周辺・クムラン
・死海周辺・マサダ・オリーブ山・エルサレム・ベツレヘム・他
- 宿泊：ティベリア：ノフゲネサレ・死海：4星ホテル・エルサレム：ラマダ



* スケジュール、金額など、変更になる場合もあります。



- アルブスコス(牧師・リーダー養成)
- 1・2年本科コース
- 夏の短期宣教スクール(ISM)
- 1学期だけの短期で学ぶ事も可能です。

御霊に満たされた歩みを願う、すべてのキリスト者の為に

新入生募集中!

各学期からの入学可能。2014年度4月、1月からの3学期からの入学も間に合います。

- ・臨在溢れる賛美礼拝
- ・御霊に満ちた講師陣
- ・実践的なカリキュラム
- ・国内外のアウトリーチ
- ・独身寮・家族寮完備
- ・アメリカ留学編入制度あり
- ・国内外からのゲストスピーカー多数
- ・多彩な選択科目

(演劇・ドラマクラス/ピアノクラス/タンバリンクラス
/ドラマクラス/英語クラス/ボイストレーニングクラス他)

cfnj.com
ホームページをご覧ください。

Facebook ページ「Christ for the Nations Japan」をご覧ください、
いね! ボタン」をクリックしてファンになりませんか?

**無料体験入学
実施中!**

平常授業のある3日間
(3泊4日)

※詳しくは事務局まで。



CHRIST
FOR THE NATIONS
JAPAN

宗教法人 アジアキリスト福音宣教会・クライスト・フォー・ザ・ネーションズ日本校

CFNJ 聖書学院

〒061-3216 石狩市花川北6条5丁目157
(0133)74-1341・1342 FAX 74-1343

●HP: www.cfnj.com 郵便振替: 02780-4-4688
●e-mail: office@cfnj.com 学院長/鍛冶川利文

